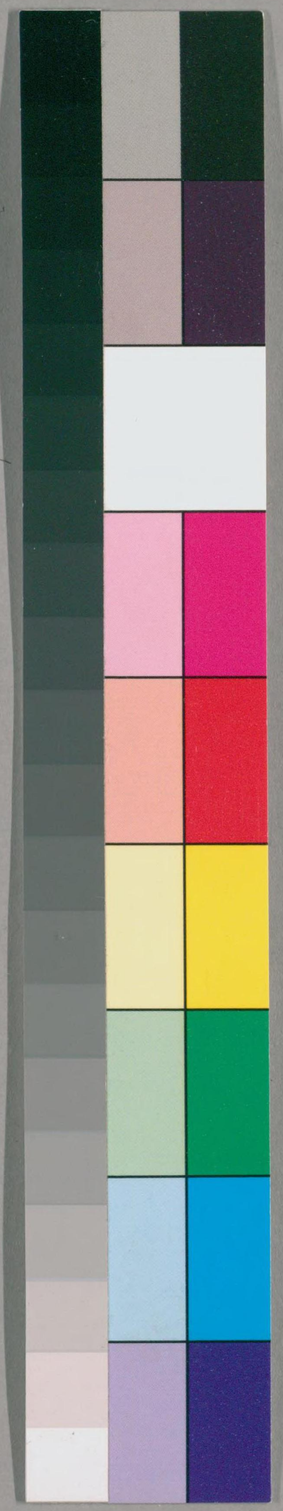
838
297
116

中西坊根



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

平住
中根

本國三河　故若狭守　嵯

利重　中根喜藏
生三州

孝住於
大神君永録六年癸一向宗一揆蜂起時励勲忠同七年十一月十四日軍馳付大雑喜戦而
抜刀抱戦利重得疵焉

正則　中根喜八郎
生三州
天正年中孝住

根岸信輔氏寄贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

大神君天正十九年辛卯賜姓

中根喜藏
實松平九郎兵衛正俊舊

生母 孝信
治徳公賜三百七十石御花畑御番
慶安三年庚寅十四歳

中根喜藏
母

寛永十六年己卯生母
慶安三年庚寅歳四三百七十石
万治二年己未七十四為御小性組之内被選津藩
元禄二年庚午
歳

中根喜太郎
母

喜八郎 喜藏

生母
元禄二年庚午八六歳四三百七十石内現米百石
列世大久保加賀守傳之為小普請

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

享保二七年丁酉八卅九年
于浄壽院殁本譽和夏覺 尊同等
雄居士

正伸 中根喜八郎 喜休 藏
女

生母

享保二年丁酉十一二歳同三百七十石田規蕃書苞傳
別當久世大和守傳之為中書詰衆同役
同九年甲辰六九為御小性組在田周防守組

正人 中根喜八郎
女

生母 妻岡田喜太郎養女 生子

安永六年丁酉正廿三殁年
于覺了院殁法著性達居士 尊同等

正 中根長十郎
女當

正恒　中根嘉藏
　妙

生ル
寛政二年庚戌　歸目

正　中根仙十郎
　妙

生ル
文化十一年甲戌二世家督ヲ為申請
鄂州采利郡稲岡邸百五十石ヲ領
外現米四十石ヲ加ヘ下河内郡百五十石ヲ合
テ二百大斗九拾石ヲ領ス

正頼　中根　次郎左衛門尉

女

生江戸
元和年孝仕
台徳院殿御代賜百五十俵
寛永十六年卒去二代五為小十人頭
民部少輔之而傷之後　御勘気
明暦三年十月
正勝　中根八郎左衛門　妙

正次　中根重左衛門

女

生江戸
明暦三年丁酉十二廿五晦日七夏外方知三百俵於同寺
兵九衛門為小普請 万治二年己亥七四為御書院番
松平民部少輔組延宝八年庚申二七屋敷改

元禄十四年辛巳二三廿五年六十四歳赤坂道教寺
号永照院厳釋了專居士

正安 中根兵九郎 法師有門
女

生江戸
明暦三年丁酉十二廿五賜知三百俵為小普請

延宝五年丁巳正廿五大久保山城守組時為大御番松倉
伊豫守組改次郎右門元禄七年甲戌六十三改兵道教寺
号

昌長 中根金五郎
女

生江戸
元禄七年甲戌七十一晦日三百俵為小普請
同年十九為捌門御番同八年七月六十二為布番本多弾正
忠御組同十六年癸五七大坂加役

正雅　中根大助新七郎傳左衛門

寅
享和

妻養父金五郎昌長女
文化七年庚生
明和六年己丑十二月七日生
幕府寄合奥仁院殿順理宗良尊

文禄五年辰年生
同十六年未七月三日病死
傳云為小普請大久保淡路守組
為大御番植村土佐守組
新御番杉浦弥市郎宝暦八年
明和　年　　若年寄為小普請

女子
如

養子　正雅妻

正庸　中根忠三郎　次郎右衛門
如

生
明和四年亥
同五年子三月八日　病日三百俵為小普請川能登守組
為大御番

安永二年癸巳十二廿七以病辞官
同五年丙申正廿二日大御番
文化二年乙丑七廿六告老辞賜金二枚為小普請

正盈　中根帯刀　於千次郎
實
實母

生母
寛政二年庚戌十二二部屋住為大御番

文化二年乙丑十二四歳目三百俵

正虎　中根錢之助　小十郎
寅

天和三年戌十四始　御目見
元禄六年酉十二十六歳寸

正音　中根右衛門八　次郎兵衛
寅

生母
元禄十申年亡七九晦日七百石菊門御老中列甲斐守
但馬守傳ク為中善請大久保加賀守姫同十五年辰年五十
為御書院番大久保豊前守姫　宝永二年乙酉三十三為進物番

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

同六年正五九卅為御膳物奉行

正　中根金次郎
女

生沼
宝永六年正十二廿　御目見
享保十二年四十二十九　家督相続
和泉守傳ク為小書詰松野助太郎

同十九年甲寅十二廿三　為御書院番高木伊勢守組

正　中根鉄二郎　次郎左衛門
女

享保八年卯生沼

寛延二年巳四廿二　自筒井内蔵允為御書院番仰付野尻小右衛門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

仙天明二年壬寅七六告病絳為中書省根本寺同
同四年甲辰九四改年六十二卒于金瑞院殿禮葬然居
正盛　中根卯之助　十左衛門
廿
生江戸
天明四年甲辰十二六歳自石筍間而御老中堅固主殿頭
傳之為中書請根本寺同寺
安藤伊予守僧寛政十二年庚申
享和元年辛酉十二十四致仕
同　年　為御小姓

正　中根鎌三郎　次郎左衛門
好

生江戸
享和元年辛酉十二十四家督七百石為中書
文化　年　為御小姓
七百石無役外百九十三石寄合
上總州夷隅郡之内七百石領知武州埼玉郡壱百石寄合
文政元年戊寅　改

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正　中根駒一郎

母

生ル
文政元年戊寅十二月七日歿ス男

藤原
中根　書記河　紋若荷丸　蝶

其先未詳平姓也
寛文年中根平十郎正與家系謂其先
藤原姓而宇都宮流二村扇田刑武家亡遺
出仕于公方家也務大番毋訟不審牧時人
好事家之作乎

正通　中根市左衛門

生ル
孝仕于
廣忠尼天文年與織田信秀軍時戦死

正直　中根市左衛門
　生ニ而
　永禄二年ニ寿仕
大神君ニ十年余奉公ニ而宗乱時大参年
元亀二年三方原役戦死

正則　中根市左衛門
　生ニ而
　又同寿仕
大神君永禄六年奉公ニ而御合戦ニ
不出戦場ニ而召所ニ而役
　中根平十郎　壹岐守
正盛
　生ニ而
　ニ而

慶長五年中寿仕
台徳公為御近習奥御側御用頻
追々御加増賜五千石寛永二拾二年
寛永五年七月致叙諸大夫改壹岐守
明暦元年七月八日致仕賜隠居料寿八十六
拜謝之献銀馬代

正與　中根平十郎
　母ハ佐村飛驒守娘
　生ニ而
　寛永十五年戊寅ニ而御小性組ニ而藤堂和泉守殿

慶安三年庚寅十二十五為御書院番本多美作守組
與頭加三百俵九賜六百俵明曆元年乙未八二番頭賜
四千石外方知千石於同雄正章同年九廿六千御太刀金馬代寛文九年己酉七三為今切御門番領
與力同心賜御役料千石延宝六年戊午五 依病辞為
寄合員享元年甲子七十九隠居

正章 中根宇右衛門
母同 臺吠時
生尸

正脩 中根半助 權兵衛 内匠 宇右門 根峰時
正包 母
妻 母 筑前守 母羽助左門 女
妻 鳥居久大夫 女

隆應二年甲午二廿五 新規為御小性組酒井臺吠守組
明暦元年乙未八三賜方知千石同年九廿六御襖献金馬代
寛文七年丁未二廿五為與羽友松前迎見使
同十一年辛亥四廿七大坂御目付
延宝九年辛酉四十大頭天和二年壬戌四一加五百石
凡賜千五百石元禄二年己巳五十四為御先手弓頭
同九年丙子四二没年 番頭寺内長敬守
号正覚院殿釋風室阿誰

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

寛文元年辛丑生[illegible]
同七年丁未閏二月八日　御目見献御太刀銀馬代
元禄四年辛未十二部屋住為御書院番高力摂津守組
賜三百俵同九年丙子七月晦日千五百石御加増御小姓
閏十一年戊寅五十為備後守[illegible]
源兵衛同年七月御暇時脇二金三枚別誠拝領之
同十二年己卯二月八日別同年閏九月賜御救銀百枚
同年四月為御徒頭同十五年辛巳二十九守治部少輔
同年四月守治御暇賜金三枚同年七月飯[illegible]
同十六年癸未二十五為御書院番九番組頭同年九月歿[illegible]

元禄四年辛未十二月七日縁組

在番御暇至辛巳年秋飯[illegible]
宝永二年乙酉八為京都町奉行同年
改摂津守
正徳四年甲午八月病辞為寄合
享保元年丙申七月八日歿[illegible]
号高雲院殿[illegible]晶栄

新十郎
勘解由

天和二年寅閏五月始
御目見

御暇叙諸大夫

正庸　中根七之助　守右衛門
寅
寅女

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

生母
享保元年丙申十月廿日千五百石
河内守傳之為小普請大久保淡路守組同年十一月
献金馬代同二年戊戌九月廿
号霊音院殿釋晶元

正秘　中根雄次郎　内匠
寛文施孫兵衛頼隆三男
寛文蜂屋七兵衛定政女

生母
享保二年丁酉十一月廿日千五百石
河内守傳之為大久保淡路守組同年十二月御
献金馬代同　年
延享四年丁卯九月廿
号覺音院殿釋晶泉

正興　中根　宇右衛門

生母
延享四年丁卯　廿日二千石
寛延三年庚午四月為御小性組
宝暦四年甲戌十二月廿
号圓覺院殿釋廣濟

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正儁 中根友三郎

生江戸
宝暦五年乙亥
同十二年壬午二廿七 跡目二千石為小普請
安永四年未年八月 御書院番 本多對馬守
弓音卿 書院殿 釋宗順居士
 法長敬寺

女子
母
某
同

正直 中根栄之進
母

生江戸
安永四年未十二六 跡目二千石為小普請
為御免 御書院番
文化七年庚午九月九日致仕

致仕

正 中根惣次郎
寅
妻女
生江戸

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

文化七年庚午七廿九家督相続小普請
二千石 外四百廿石 弐拾四人高 常州茨城郡五郎 二千石
三石一斗二舛九合四勺 残高
同国壁郡下高田邨外御地常州茨城郡之内
五石壱合 同国壁郡下高田邨内 五石壱合 福寺 同国茨城郡之内
無量院 同所 五石壱合

正 中根市十郎
妙

生年
明暦三年丁酉六廿五歳 御目見献銀馬代
寛文二年壬寅五朔朔日 御小性
賜 嘗銀同三年癸卯二七為御小性
十致 中根長七郎 長左衛門 平十郎 壹岐守
正冬
妙

妻山口勘兵衛 直賢女
天和二年壬戌十二廿七歿
于理妙院殿久翁日昌大姉

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

再孝 秋山修理亮正房子

生母
寛文二年壬寅十二十九 部屋住為御小性組松平監物組
同五乙年乙巳十二廿五 賜三百俵
貞享元年甲子七十九 蒙御加増四千石并御老中列望
大久保加賀守傳之同廿三日継目御禮献金馬代
同五乙年戊辰三廿八 従五位下侍従
大坂御目付同二年己巳九廿八 御留守同三年庚午四十七為
日光御目代同五年壬申十一廿 御留守同廿晦日免御用
九朔御暇賜金三枚同年十二朔 御留守同廿晦日免御用
同廿日加階同六年癸酉五十 為御目付
同七年丙戌四廿六 為新御番頭同十三年庚午四 為先

正
中根新之助
蔭

生母
万治二年己亥八十三 始 御目見
寛文七年丁未十二廿一 新規為御書院番
賜三百俵

御留守居 叙諸大夫改官名 安房守
宝永二年乙酉三廿五 病痛辞為寄合
同五年戊子正十五 為御鉄炮百人組頭
同七年庚寅四廿 致年六十六

女子

長田直孝内

享延宝八年庚申十五 縁組

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正之嵩　中根圖書　宮内

生母
宝永六年正月七十之始御目見献銀馬代
同七年庚寅六廿三師員四千石為字合同年七十一拝謝
之献鍬刀金馬代　享保三年戊戌閏十九日

正美　中根右京　年十卿
妹

生母
寛延四年辛未二十三歿
葬深川霊巌寺

享保三年戊戌閏十九日師員四千石菊門而御老中列坐也
方和守傳ゝ為寄合同年十一月十一日御目御礼従者献
御太刀金馬代
寛延四年辛未九三就植村千吉親族呼評定所首御尋
同十三年癸酉十二月十三依植村千吉聲
一件以面謁恐如行半知被　召上之小普請入込蟄居申渡
宝暦　年　佛教号
同十二年壬午五十二致仕

正　池田右門　外記

母池田大膳長元女
養池田備中守長員女

正長　中根　勘解由

母

生年
宝暦十二年壬午五十三歳
松平右京亮傳之為小普請高九式郎
明和九年壬辰八十五歳并室敬寺
子真嶋院殿光誉圓頓智艶
大姉

生年

寛政十三年辛酉正十二為御使番
享和二年壬戌九　改

正　中根　主税

母

平十郎

生年
享和二年壬戌十三歳
二千石内五百石二斗七升　小物成高入
外四百七十四石二斗七升　高入
之内設樂郎五郎　五百俵相州高座郡二郎七百石一斗
九升　居

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

相州大住郡二百世帯名里、武州多摩郡数館二年
上州新田郡二郡七百九拾二戸野里名里田郡南波々百里名也

平姓
中根　圭国之河

紋若苅丸　蝶

正俊　松平九郎兵衛

正連　中根九郎兵衛　三居
女

寛永年孝仕大猷公為大御番賜二百五十俵承應元年三居士一十一馬新御番
明暦二年當加五十俵合賜二百五十俵
寛文元年辛丑為神田御殿御鉄炮頭加三百俵賜五百
五十俵

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正勝　中根八郎右衛門
　　猶

生江戸
寛永二年酉寅五月九新規為小十人中根淳之卿組場百俵
同十九年壬午十二月十六加百俵合場二百俵
後ニ病辞為小普請
寛文二年壬寅七月二致薨白山
于高源浄閑信士

東　中根八郎右衛門
女

正保四年丁亥十二月五為小十人組元禄七甲戌年四月廿七御進物番
元禄十四年辛巳八　遠島　後帰次番又相阿弥番為御小納戸寛文二年壬寅十二月廿九日
御加増三百俵

正信　中根六郎右衛門
女

生於
慶安二年庚寅九月三部屋住為小十人元禄七甲戌年四月廿七御進物番
百俵十石筒井伊賀守組時寛文二年壬寅十二月廿九日
葬白山
于清眼浄光信士

正戒　中根帝五郎

女

生江戸
寛文二寅卯十二晦日賜二百俵叙小普請
同六年午十二六為小十人組改番方名又史兵衛
延宝六年　為御納戸世話役同年十二廿七御足五十俵加
二百俵同七年未九十六致事
号心無相覚信士

妙

妻子

延宝元年癸五十二廿三致寿国寺
号厳光妙荘禅子尼

忠兵衛

中根忠三郎

貴

生江戸
延宝七年未十二十一晦日二百俵菊間御老中列座酒井
雅楽頭傳之為小普請
天和二年戌三十三致寿国寺
子種受了梅信士

中根忠四郎

實

生江戸

六大夫

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

天和二年壬戌七十二歳　目二百俵為小普請
貞享五年戊辰二七改　奉周等子柳邦院殿勝蔵翁
居士

正　中根長太郎
母

生江戸
貞享五年戊辰七十二歳　目二百俵菊間御老中列坐大奏
加加賀守傳之為小普請
元禄二年庚午七十八改　奉周等子根林院殿敬翁清頂信士

正長　中根喜三郎
實

平右衛門

生江戸
元禄二年庚午十二十二歳　目二百俵菊間御老中列坐
大久保加賀守傳之為小普請　後中川伊勢守組時
享保三年戊二十六大御書奉
同八年癸卯十二廿一改年
行正公殉死殿調着輝廣居士

正栗　中根勝之助
母

明和七年庚寅十二十九改　奉周等
号圓鏡院殿大着智光自月大師

宝永六年己丑生江戸
享保十六年辛亥十二廿五部屋住為大御番戸田石近支組
賜二百俵宝暦七年丁丑十二十三為同組頭
安永七年戊寅七八改　年七十　奉周寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

子淵源院殿輸誉随風周和居士

某　中根忠次郎
妙山田大之亟　女　壽
壽

生江戸
安永三年甲午五十六歳
号無営院大誉圓南居士

正備之　中根平右衛門　船之助
甘岡　妙

明和三年丙戌七十歳葬
号妙蓮院実誉芳蓮大姉

寛保元年辛酉生江戸
安永七年戊戌七十九歳葬
賜三百俵外令還百俵寛政八年丙辰三月為御先御小性組
文化十年癸酉　致事七十三歳葬

中根里次郎

正　中根辰蔵　源政勝

妙

生江戸
文化四年丁卯二朝致事葬
于淨光院歓誉脱心澄清居士

文化四年丁卯二月九日葬于晩雲院明誉了林顕照居

正明

中根源次郎　平右衛門

嫡

生江戸明和二年乙酉生
文化十年癸酉閏十一三晦日二百俵為小普請
同　為大御番

中根七藏

中根欽次郎

中根八郎

津田平八郎　為津田半蔵養子

中根勝太郎

母高橋善山田源太郎直永
妻加藤治左衛門昭安

生江戸

正輝　中根又五衛　九郎兵衛

妙

生江戸
万治二年巳亥七四部屋住為大祢番大久保右京元組賜
二百俵寛文十年庚戌十六為御膳物方
元禄二年己巳七十歳月五百五十石前而御老中列坐阿部
豊後守傳之宝永三年丙戌三光五国病終為小普請
為村前伊豆守組　正徳二年壬辰八九歳
水道端
号修善院啟梓道意居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正之　中根九郎右門

正辰　中根久右衛門
女

生母
正徳二年壬辰十二廿七日五百五十石菊間御縁中列
大久保加賀守傳之為小普請松前伊豆守組
享保三年戊戌三十六為大御番太田陽岐守組
同十七年壬子八五致寿
于法澗院殿釋教與行達居士　寿圓寺

為小大野傳四郎組後新御番
正徳五年未正十二死

正孝　中根平八郎
實
妻

生母
享保十一年丙午十一二師目五百五十石菊間御縁中列
村子左近將監傳之為小普請
同十年　為大御番松倉下野守組
宝暦七年丁丑七九致寿
于賢流院殿釋道源玉信居士　寿圓寺

正武　中根主馬　織部
女

生母　平八郎

右馬之助　九郎兵衛

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

生[illegible]
宝暦二年壬申十二廿七部屋住為大御番
賜二百俵同七年丁丑 淵目五百五十石
安永二年甲午五四仍病辞為小普請鳥津式部少丞配
同四年乙未閏十二十二致仕天明七年丁未三十八歿年
葬同寺号寂照院殿釋真壽延長居士

正英 中根孝三郎
實
實母 妻仙波[illegible]織部
生[illegible]
安永四年乙未閏十二十二家督五百五十石苗門番頭中

列坐田沼主殿頭傳之為小普請鳥津式部少丞配
同六年丁酉二七為大御番
天明八年戊申五廿一為新御番柴奉行修理亮組

正信 中根斧三郎
實 波多野[illegible]
實母
生[illegible]
寛政 年 平八郎

家督五百五十石為小普請組番頭

重彰　中根肇成

天明六年丙午十九日
奔向寺于善入院薙勝意寺

同七年丁未十二廿三為大御番
高五百五十石　内四百九十石　外百六十石
野州芳賀郡二色三百六十石
同塩谷郡鷲宿色二百廿石

中根権六　十七右衛門

友次　中根権六　十七右衛門
生ニ而
慶長十二年丁未為大御番

信友　中根権六
生ニ而
永禄年中奉仕
大神君天正十年中所々御陣行励軍功
天正十九年辛卯五月朔相地内二百　御朱印移奉仕
台徳公

手作
中根　本国河内
敬荷

寛永二年七月賜
白銀百枚名九斗合賜三百枚名九斗
白徳云御羊印附発地百枚名九斗
同十年壹百並加二百名九賜五百枚名斉
後為御材木奉行
寛文五年乙巳八月廿五日没年
与清雲院殿鉄漢全心居士

寿駒筆松山蓮華寺

信政　中根権六
母

生江戸
寛文五年乙巳十二十一歳月五百枚名斉
列坐稲葉美乃守傳之
同十一年辛亥九十二六月依命免蟄居

安矩　中根矢右衛門
妙

寿夏目

寿蓮華寺

寛享元年甲子四十八月廿五日
国成院殿光峰元智居士

寿蓮華寺

生江戸
寛享元年甲子七十二歳月五百枚名九斗
列坐大久保加賀守傳之十番
拝謝之献銀馬代四百枚名九斗
同年十二十六為大御番四部屋詰被仰付

寿蓮華寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

元禄五年壬申十一廿八為御蔵御門番頭後名痛為
小普請
享保七年壬寅十二廿三致仕同十二年丁未四十九歿
葬同寺号大境院厳智證日圓居士

政次　中根兵蔵
母夏目氏

女子
母同　石原頼母政員室
宝永七年庚寅正九死葬辻万昌院
号壇林院厳玉宝耀珠大姉

員享四年己卯生江戸
元禄八年乙亥七廿五始御目見
宝永元甲申二十九致仕廿三
葬同寺号麗春院厳江山本光
居士

直堅　中根権六
母同
妻桃井内蔵助山城守女
享保八年癸卯十一廿二致仕十八歿
同寺号麗秋院厳容光日営大姉
女源
明和六年己丑十一廿四歿葬同寺
号永信院厳妙道日澄大姉

再妻與津

生没
享保七年壬寅十二廿二生
水野和泉守傳ク為小普請伊丹覺左衛門女配
同九年甲辰十九為大御番
元文元年丙辰十十二暗新御番大久保隠岐三郎組

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

宝暦八年戊寅正十二致年
号大信院殿通澄日淨居士

女子　石原頼母　路賢者
實ニ宅五兵衛　女

宝暦十三年癸未九月廿
七日院号栄心院殿

信之　中根一學　法圓寺
母　権六

生ル
宝暦八年戊寅四月廿日五百枕名九才為中善清之薬

女子
母

高井岩五郎　實負者

元文二年巳生ル
宝暦七年丁丑六月廿一年
蓮華寺号深信院殿妙龍日感大姉
明和八年辛卯三月廿
号淨信院殿妙順日芳大姉

安永六年丁酉九月廿
号本脩院殿蓮成日現
居士

女子
母

興津七之亟

某
母

也十郎ヲ配
寛政二年庚戌
八才九才大姉在書被

同十一年辛巳五廿一為大御番

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

信忠　中根一學

母

生母
寛政二年庚戌十二月　卽座爲大御番組頭長門守組
賜二百俵同三年辛亥十一月三日　卽日五百俵名九斗
同四年壬子五月九大坂在番而歿

信寛　中根權六

母

生母
寛政四年壬子
五百俵之内九計外領知百俵
下總爲番頭組頭十年勤續相叶
寄合席被仰付
諏訪相模守組
寛政四年壬子
五百俵之内九計外領知百俵
下總爲番頭組頭十年勤續相叶
寄合席被仰付
諏訪相模守組

平姓
中根　本国二河　依若守

正
中根仁左衛門
生二河

永禄年暑仕
大神君二而百手ニ乱致軍忠

正
中根茂助
生二河

天正年中暑仕
大神君ニ而十九年二而卯助正勝内三男

正晴（一政）　中根仁右衛門　茂助　仁右衛門
　妻

生江戸
元和三年　孝仕
大猷公賜父跡三百石元和九年奏為大御番　水野備後守
寛永十年奉加二百石九賜五百石
明暦二年二月二為御番頭後辞
延宝二年甲寅四十一致仕
号顕中院殿釋宝智居士

正遠　中根弥十郎　陳五右衛門　仁右衛門
　妻

生江戸
承應三年甲午十二月廿五日
賜二百俵延宝二年甲寅
貞享二年乙丑九十二師目五百石
元禄十三庚辰年大坂在番而致
于寶林院釋了栄

正　中根孫二郎
　妻

生江戸
天和二年壬戌二廿一始　御見参
五百石
寺保元年甲申十一五致仕

正輝　中根隊十郎
女　茂助

生江戸
寺保元年甲申十一五家督五百石菊間番仕老中列望
阿部豊後守傳ク為小普請組前伊豆守在

同三年戊戌三十六為大御番士列
宝暦六年丙子七ル仍病辞為小普請組
同十二年壬午五十九致仕　法名長警

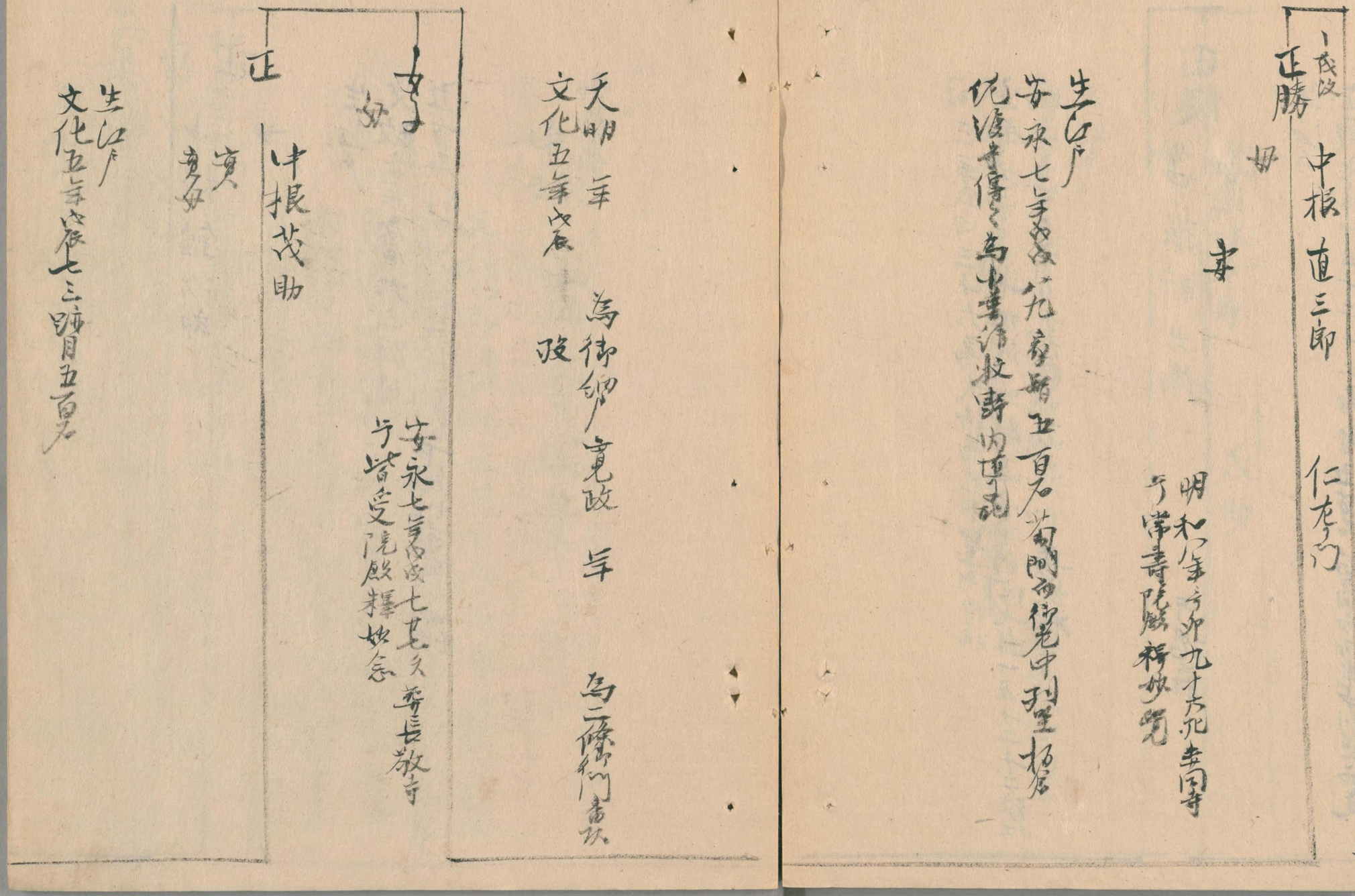
生江戸
宝暦七年丁丑十二十二家督五百石菊間番仕老中列望西尾
隠岐守傳ク為小普請組
同十年庚辰九十為大御番
安永四年乙未八廿二病辞為小普請牧野内匠頭

正俊　中根新兵衛
女

与祖翁

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

同七年六月九日仕于堀河院
天明二年三月五日八十四才



生ル
安永七年戊戌九月廿五日
死後寺傳ヲ為小畑清叔所望
明和八年辛卯九十六死寺同寺
于常壽院殿特被免
菊間ヲ御免中刊望都

天明 年
文化五年巳辰
為御卵 寛政 年
政

安永七年戊戌七月九日
于增受院殿擇妙念
尊長教寺

生ル
文化五年辰七月五日

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正　中根鑰次郎

母

生江戸
文政二年庚辰六二跡目
五百石　外ニ四十俵高　下總州香取郡四ヶ邨

秀祐 中坊右近 忠左衛門 飛騨守 従五位下

秀行 生和州天文十年辛丑廿四海老名氏養子
継父秀国遺跡高市郡奈良為町奉行永禄年中属松永
弾正忠久秀而忠久秀信長公時知二千五百石地為南都町司其後筒井家没落時始
孝仕
元和元乙卯年六廿伏見而頭丸死年六十三
号事春院殿善道意居士 宝光院と申記

秀政 中坊右近参更 飛騨守 従五位下
生和州奈良 妻多羅尾左京進光太女
慶長十四年己酉賜父遺跡二千五百石
女子 駿府ニ於東照宮ニ仕奉
女子 豊臣大閤家臣 超昇法師 号孫七郎弘盛妻

時祐 中坊 長兵衛尉 義作守 従五位下
妻松平右衛門督正綱女 延宝二年甲寅二月二十九日没
号照雲院厳淳誉山空周清大姉 同寺ニ葬
生於和州
寛永十五年戊寅十一九賜父遺跡二千五百石如父為
奈良代官 承應元年壬辰五七為奈良奉行
寛文二年壬卯十二仍病辞為寄合
同八年戊申十二致仕賜三百俵
女子 慶應大学医家臣 湯浅春庵妻

寛文八年申十月初賜三俵奈良奉行ヲ辞ス為ニ寄合ニ

同十八年寅五十一為和州奈良奉行預與右六時因
三十人而 合五万石御代官改賜和州芳野郡二千五百
寛永十五年戊寅ノ十一致
号常光院殿心誉崇安居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

延寶五年丁巳六十二歳 三
今知足庵前作乃大守救譽浮
秀時 中坊長兵衛
母 貫湯浅右近 又九郎 男 真治男 弟宗三十四
妻 女 元禄十二八十五歳 養圓寺
男 長生院殿誉宗榮四月六日 大姉
生於江戸
部屋住為 御小性組大久保山城寺組賜三百俵
寛文八年戊申十二歳 初テ二千五百石
延宝九年辛酉二十九為 御使番天和二年壬戌 第一加秩
元禄元年十月十日 改松阪
五百石元賜四千石 貞享二年乙丑八十六為 御書物奉行
元禄十二年戊寅八十四仍病辞為寄合
同十三年己卯八十五 改享七十二 寿国寺
子秀時素
女子 村垣大納言 室
秀時 中坊内記
母
妻 一柳土佐守寺禮女 延宝八年庚申十十五歳
里婁庄喜左衛門正述 妻 元禄七年甲戌六月廿三日 蓮華院照雲秀了居士 運大姉
貞享五年戊辰七十歳
秀廣 中坊長左衛門
妻 若堂大学頭井上重左衛門家臣 寛文十年庚戌六月廿三日 蓮華院照雲秀了居士 運大姉
寛文十年庚戌湯浅右近直治女
妻大久保主馬頭忠兼女
生江戸
女子 早世
元禄十七正十二卒
久翁院前天誉遠心大信士

元禄九年子三始 御目見献銀馬代
同十二年卯十二九晦日 四千石菊門御老中列坐 阿部
豊後守傳ク為寄合同十三年辰七十二 狩谷刑部之為
御右刀馬代金二枚同十四年巳九十五 為御使番
宝永四年丁亥四十為御先手御鉄炮頭同五年戊子罷
為御持弓頭 正徳元年辛卯十一廿三為奏者行
歟諸大夫改義作寺 享保十年乙巳八九 歿年
号真涼院殿 前備州 空誉鋭山紹治居士
女子 小林十郎系 妻大久保加賀守忠興女
(栄寿院殿法雲清閑大姉 元禄十七年 晴明院殿 貞保二年氏清 晴明)
秀豊 中坊五郎兵衛尉
秀成 母忠兼女 幼名
嘗書
女子 大久保玄蕃頭忠○兼詮院殿壽徹日典大姉

生江戸
享保十年乙巳十一二跡目四千石菊門御老中列坐松平
右近将監傳ク為寄合同十三年戊十七逝 御褒献金馬代
同十四年己酉九八改享二年三月朔日 光秀山居士
号真教院殿豊誉 養子 中坊兵部 弥千次郎 享保十年乙巳十一跡目四千石菊門御老中列坐酒井
秀宣 秀成 実牧野河内守英成三男
女子 秀孝室 実内藤豊前守式信三男
寛永十年癸酉五月朔日 寛永五年戊辰二月朔日
寛文十年庚戌八廿六 延宝八年庚申八月
享保十四年己酉十一 四品五位

諡叡尊傳之爲高名同十五年庚戌四朝継目御禮献馬代
金馬代
同十八年癸丑二十一疫年三十五
号成覺院殿秀耆空月宝山居士

始称成
秀寺 中坊左近 左京 名鍋五郎 贈従五位下
西院河内守 興安藤若狭守定房次男
實母大久保玄蕃頭忠兼女
女子養中有吹妻

寿保九年甲辰二十八生江戸
同十八年癸丑五四跡同四年方十三継目御禮献金馬代
傳之爲高名同年方十三継目御禮献金馬代
元文五年庚申清水御門番処寺三年内庚駿府加番
寛延四年辛未五月馬場先御門番宝暦七年十五五月瀬

御門番同年九爲大事場見廻明和二年乙酉正十一爲
御使番同年榮使備前岡山同五年戊子八十五爲
駿府町奉行同八年辛卯十九爲御持筒頭
安永元年壬辰十二廿六爲兼御小性組番頭同廿分叙
諸大夫改諡叡尊同五年申五廿三年五十六
同寺号法運院殿稱誉鎌叢身英居士
前讃大守

秀道 号者 中坊金藏 近江寺 河内守 従五位下
廣岩
母家女

寿小竹 原山 本堂 母大田垣七郎兵衛女
寺牧寺信誉女 文政四年辛巳十月廿二日寺
桐梧院殿彩雲玉翁貞華大姉

寛保二年壬戌生江戸 実近寺 三三生
安永五年申八 明和三年二月廿七日小納戸内山半右衛門
希安

為高倉
天明三年癸卯　　為中書請組之配
同七年丁未八月八為御坊中性組番頭同年十二月叙諸大夫
改近江守同八年戊申六月為御書院番頭
寛政七年乙卯十二為大御番頭同八年己辰正月五
改河内守
享和四年甲子正月卒年五十九葬同寺
子崇隆院殿仁譽風揚居士
頼植　錬次郎　後権右衛門尉
中坊鍋五郎　長兵衛　男庫助
廣彭　母小笠原若狭守信之女
妻津田日向守信之女
安永六年丁酉九月九線組
生子

文化元年甲子五三歳日前御書甲列座
為高倉
内二名五年休九高倉前々為高倉
内二名三年七年方各小姓為高倉
利用吉野御十五郎三子曾
九十名
智年上州邑樂郡我妻邸ニ而野州芳賀郡下柏
享年若

享
潤
女子
曾

安藤次右衛門　正武等
作便宜
中奥行住
加藤淡路守泰豊等

行綱 小笠原長次郎
廿四

廣風 中坊 金藏
廿 津田日向守信之女

駿河守

天保八丁酉年二月廿一奇合奠肝冠十二年辛丑廿四日為ハ
日光奉行叙諸拿吏御駿河守冠
同十五年甲辰八廿九日拿御定奉行弘化二年乙巳三月廿日
為甲斐勘審ま配冠四年十未三月廿五日辞致仕

中防陽之助

薩侯
中西 李國大和 紋澤浮 六星

元任 中西伊豫守

元朝 中西出雲守
元孝 中西隊三郎
元章 中西與作 元明 中西隊一郎 某 中西隊長
女子 女子 通冠

元女 中西伊豫守
生私 妻 井波書野 野宮山宋女妾 為法野淳室尚妻

生和門

始居筒井伊旗下慶長十四年西正月壽貞方
大和尼上意出仕寛永七年庚午正月廿五日卒
台德公同十五年戊寅於告知河内郡野村賀郡賜之
為菩合同十九年壬辰二月廿一日卒
元和五年己未正七及等
号高洞院敗浩秀岳道夫居

元七 中西主水 主水正
妻淺野弾正大弼長政養女
生和門
慶長十九年甲寅大坂役扈安藤對馬守侯奉
元和五年己未所目之名為菩合

元朝 中西主馬 為兄元吉養子
女子 幕神部丑九郎
女子 牧市左衛門

元政 中西外記 母同

慶長十五年庚戌生仁尸

寛永九年壬申十七及等五十九年常在山重山寺
号徳本院敗鐘誉圓山淨空居

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

寛永年新規為御花畠御番賜三百俵
明暦二年閏九廿二致年卒

元暉 中西千之助
女

正保二年乙酉生
明暦二年丙申十二廿一跡目三百俵為小普請
寛文二年為御小性組後辞為村越伊予守
元禄十酉年三月八五致年五七

元壽 中西欽五郎
女

元禄十年丁丑生
同十酉年三月十廿二跡目三百俵為御花畠
稲葉丹後守傳之為小普請村越伊予守
享保四年亥八四為石川兵庫頭同年十二六為伊予守
高井伊現寺院明和四年十二六生老辞賜屋敷為
十善誓松平藤九郎子孫安永八年三廿二致年八十三
葬同寺

元嘉 中西右膳
女
妻 高井庄左衛門 女

生母
宝暦十三年癸未十一十八 部屋住為御書院番酒井
備中守組賜三百俵安永五年申免小普請
同心寺社奉行支配文政元年寅十二為免
御書院番 文化四年丁卯四十九 告老隠
賜金二枚為小普請小普請支配

女子
母 萩原源左衛門 妻

女子
女 塚原政吉 男
女 高井庄左衛門 妻

元厅
母 中西隆右衛門 妻

女子
寅 跡部茂右衛門 妻

明和六年己丑生
寛政六年甲寅十一十四 部屋住為御小姓組松平信濃守組
賜三百俵

母 御書院番 松崎求馬助 女 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

元 中西第之亟
嫡子 嗣 榊原藤右衛門 等

元 中西鎌三郎
母杉崎水島助
女

嫡子 嗣
嫡子 嗣

元朝 中西主馬
寛房

元和三年丁巳生江戸
寛永九年壬申嗣目三千石
万治二年己亥四十三歳常在山室寺
于時岩院法誉学玄宗和居士

元照 中西圖書
寛永年多美作守忠相寓
享保

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

生江戸
元治二年乙丑十二廿五跡目三千石為寄合
為寄合近藤備中守
元禄十六年癸未十二廿七致寺
号西林軒残月元照居士

元英 中西内匠 右近
女
寛文九年酉年 四廿一ニ 御目見
女子 同 部 久 大御 寄合
中西 淳正 主水 番
孝元 光
女 妻
生江戸

正徳四年甲午八十三致
蓍月桂寺号光性院
孤月凌空居士

元長 中西刑部
寛
寛女
豪

生於江戸
寺係二年丁酉十二跡目三千石為寄合
大和守傳之為小普請組支配
安永四年乙未五九九致寺七十五寿
法名法妙寺号華厳院殿妙源昌運大姉

元禄十七年甲申二廿七跡目三千石為寄合
阿部豊後守傳之為小普請組支配
同年三十五継目御礼献御太刀馬代金二枚
寺係二年丁酉八廿九致寺
于寛常院殿紅誉山嶺山真徹居士
寿東所 霊山寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

金馬代 同九年庚午十九為御書院番 松平内匠頭依
同十七年子六九政年 寿霊山寺
号登涼院厳清蒼覚禁池蓮石士

女子 養子元長女
母

元義 中西幸三郎 淨正 主水 伊豫守
母同姓孝元子

享保元年申生
同十七年壬子九四晦日三千石菊間而御先中列坐 松平五位

將當傳之為宝暦十一年辛巳正十一為御使番同年十二六進目御徒歩頭
明和七年庚寅十二為 仙洞附同年十二十七叙
諸大夫改伊豫守同年六以著書如願辞為奥番
宝永五年戊申二十改年方
号到岸院殿真蒼實際顕示居士

女子 享保九年甲辰五十九 寿月桂寺
号春蛇院宝華宗栄童

女子 享保九年甲辰正朔天法明寺
号如法院殿妙華日芳法尼

女子 留守

綽也曰祈二ヲ
リテ力

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子
智

中西刑部阿阪安永五年丙申生水
宣爵七年丁未正二位参議
号如說院船越修亭

元良
毋安藤
妻方卿兵庫頭政村女号心月院
宝暦十三年癸未生水
安永五年丙申
文化二年乙丑十月二日三千石為寄合天明三卯三十八年親
号心性院殿寛源道相居士
明和四年丁亥三十八年五月
棲雪亭号本光院丁寿玄法童子

某
智
中西恒三郎

中西
母
某

中西藤十郎
元
実
寿

天明七年丁未二月廿五日
号桃林院切外自寿童子

生卒
文化二年乙丑十二月五日三千石為寄合
同十年癸酉
歿

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

838
297
116

元

中西為次郎

寅

壬毋

生子
文化十年壬酉十二五歳目前
三千石 無十物成高入
外千石百七十石八生産
千六百十石 常州河内郡之内三百石 野州都賀郡福良
七色二千九百十石 居多 野州都賀郡福良
十色二千九百十石 居多 野州都賀郡福良

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用